

記者発表（配付）資料

平成 21 年 8 月 26 日

所属部課	主席学芸員	統括学芸員	担当	連絡先
歴史まちづくり部 萩博物館	樋口 尚樹	清水 満幸	堀 成夫	0838-25-6447

件 名	縁起のよい「黄金のオコゼ」を捕獲、 萩博物館で夏休みいっぱい飼育展示
-----	---------------------------------------

縁起がよいといわれる「黄金のオコゼ」(オニオコゼの橙黄色の個体)が長門市青海島で捕獲されました。夏休みの親子連れ向けに、萩博物館で 8/31(月)まで飼育展示します。

■ 発見から寄贈の経緯

長門市青海島で「黄金のオコゼ」が捕獲されたとの連絡が 8 月 19 日、萩市水産課を通じ萩博物館に入りました。翌日、当館が寄贈を受けて調べたところ、それはふつうは暗褐色をしているはずのオニオコゼが何らかの原因で橙黄色に変異した個体と判明しました。

体長：約 25cm

採集地：長門市青海島 船越 水深 50m

採集日：2009 年 8 月 19 日

採集者：谷村昌一氏(70)

情報提供：萩市水産課



■ オニオコゼについて

オニオコゼはカサゴ目 オニオコゼ科の海水魚で、体長 30cm ほどになります。本州から東シナ海の岩まじりの砂底にすみ、「高級魚」として食の世界で人気があります。通常は周囲の環境に似て地味な暗褐色をしていますが、まれに何らかの原因で体の色素に欠陥が生じるらしく、黄色やオレンジ色の変異個体があらわれます。このような変異個体は各地で年に数回しか発見されない珍しいものである上(今年は三重県南伊勢町、広島県江田島市、鳥取県鳥取市、山口県岩国市など)、外観が神々しく高貴な「黄金」のようであるため、縁起のよい「黄金のオコゼ」と呼ばれ重宝され、公開されると話題になります。

■ 展示について

萩博物館では、海の豊かさ・大切さを知っていただく特別展「マンタの海流大冒険」を開催中です(～8/31)。このたびの「黄金のオコゼ」は、萩近海がかくもバラエティ豊かな生命の宝庫であることを大勢の方々に感じていただく貴重資料として、今月末まで生きた状態で特別公開します。縁起がよいとされる「黄金のオコゼ」・・・じっくり対面すれば、運気が向上するかも！？

場所：萩博物館エントランス水槽 期間：平成 21 年 8 月 26 日(水)～31 日(月)

※ 生きものですので、体調などの都合により公開期間を短縮する場合があります。